

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第106回）議事概要

1 日時 平成27年1月21日(水) 15時00分～16時10分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

相澤 彰子、相田 仁、青木 玲子、安藤 真、石戸 奈々子、
伊東 晋、近藤 則子、三瓶 政一、鈴木 陽一、須藤 修、
知野 恵子、根本 香絵、前田 香織、水嶋 繁光（以上14名）

(2) 専門委員（敬称略）

雨宮 不二雄、多氣 昌生（以上2名）

(3) 総務省

(情報通信国際戦略局)

武井 俊幸（総括審議官）、野崎 雅稔（技術政策課長）

(総合通信基盤局)

吉田 真人（電気通信事業部長）、富永 昌彦（電波部長）、

塩崎 充博（電気通信技術システム課長）、

富岡 秀夫（電気通信技術システム課企画官）、

杉野 勲（電波環境課長）、澤邊 正彦（電波利用環境専門官）

(4) 事務局

蒲生 孝（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

(1) 分科会長の選出及び分科会長代理の指名について

【内容】

情報通信技術分科会委員（15名中14名出席）の互選により、伊東委員が分科会長に選出された。また、分科会長より分科会長代理として鈴木委員が指名された。

(2) 委員会主査及び委員会構成員等の指名について

【内容】

委員会に所属する構成員及び主査並びに ITU 部会に所属する構成員が分科会長より指名された。

(3) 「新たな情報通信技術戦略の在り方」について

【平成 26 年 12 月 18 日付け諮問第 22 号】

【内容】

本件は、我が国が超高齢化社会を迎え、国際的な経済競争が厳しくなる中で、ICT 分野における新規市場と雇用の創出が重要であることから、ICT 分野のイノベーションの実現等を目指し、国等による研究開発・成果展開の着実な推進を図るため、平成 28 年度からの 5 年間を目途とした「新たな情報通信技術戦略の在り方」について検討するもの。

(4) 情報通信技術分科会決定の改正について

【内容】

上記 (3) について調査検討を行うため、新たに「技術戦略委員会」を設置した。

(5) 答申事項

- ① 「国際無線障害特別委員会 (CISPR) の諸規格について」のうち「ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件」のうち「6 MHz 帯の周波数を用いた磁界結合型ワイヤレス電力伝送システム及び 400 kHz 帯の周波数を用いた電界結合型ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件」について

【昭和 63 年 9 月 26 日付け電気通信技術審議会諮問第 3 号】

【内容】

本件は、無線技術を利用して家電機器や電気自動車などへの給電を可能とするワイヤレス電力伝送システムのうち、スマートフォンやノートパソコン等への給電を目的とした 2 つのシステムについて、他の無線機器等との周波数共用や人体防護が確保できる許容値及び測定法並びに人体安全性の評価方法に

ついて検討を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があった答申案のとおり、一部答申することとした。

- ② 「ネットワークのIP化に対応した電気通信設備に係る技術的条件」のうち「ネットワークのIP化に対応した安全・信頼性対策に関する事項」について

【平成17年10月31日付け諮問第2020号】

【内容】

本件は、今年度改正された電気通信事業法の内容を踏まえ、情報通信ネットワークにおける安全・信頼性対策全般にわたる総括的な指標である「情報通信ネットワーク安全・信頼性基準」の見直しについて検討したもの。

審議の結果、IPネットワーク設備委員会から報告があった答申案のとおり、一部答申することとした。

(2) 報告事項

CISPRフランクフルト会議の結果について

【内容】

本件は、昨年10月13日から10月23日までの11日間、ドイツのフランクフルトにおいて開催されたCISPR会議の結果について報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 横溝、水本

電 話：03-5253-5957

FAX：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。